秋田工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	政治経済（２Ｃ）

科目基礎情報

科目番号	0030	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	一般教科（人文科学系）	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	教科書：「政治・経済」東京書籍、補助教科書：「政治・経済資料集２０１７」清水書院、その他：自製プリントの配布		
担当教員	伊藤 寛崇		

到達目標

１．現代の日本と世界の政治動向について理解できる。
２．現代の日本と世界の経済動向について理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	国際政治と日本の立場・役割について説明できる。	日本政治の現状と課題を説明できる。	民主主義の基本原理を説明できない。
評価項目2	国際経済における日本の立場・役割について説明できる。	日本の経済の現状と課題を説明できる。	現代経済の仕組みを説明できない。
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	中学校（公民分野）での学習をふまえて，現代社会における政治と経済の課題について主体的に学ぶ視点を養う。
授業の進め方・方法	講義形式で行う。必要に応じてレポートを課す。試験結果が合格点に達しない場合，再試験を行うことがある。
注意点	授業中は板書を書き写すだけでなく，口頭による説明についてもメモをとる習慣を身につけることが必要であり，また授業内容の理解を深めるために，新聞やテレビのメディアを活用したり，文献や資料により学ぶ姿勢をこころがけることが必要である。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス １ 現代の政治 (１) 民主政治の基本原理	授業の進め方と評価の仕方について説明する。 民主政治の課題と世界の政治体制について学ぶ。
		2週	(２) 日本国憲法の基本原理	憲法の基本原理と課題について学ぶ。
		3週	(３) 日本の政治機構	三権分立に関する課題について学ぶ。
		4週	(４) 現代政治の課題	政党・選挙・世論をめぐる課題について学ぶ。
		5週	(５) 現代の国際政治	国際政治の課題について学ぶ。
		6週		
		7週	到達度試験（前期中間）	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。
		8週	２ 現代の経済 (１) 現代の資本主義経済	現代経済の特質について学ぶ。
	2ndQ	9週	(２) 現代経済のしくみ	家計・企業・政府の経済活動について学ぶ。
		10週	(３) 日本経済の現状	日本経済のあゆみと，これからについて学ぶ。
		11週	(４) 日本経済の課題	公害・食糧・雇用・福祉の問題について学ぶ。
		12週		
		13週	(５) 現代の国際経済	経済のグローバル化について学ぶ。
		14週		
		15週		
		16週	到達度試験（前期末）	上記項目について学習した内容の理解度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト、ノート	レポート	合計
総合評価割合	70	0	0	15	0	0	5	10	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	5	0	55
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0	0
思考・推論・想像への適用力	20	0	0	0	0	0	0	10	30
態度・嗜好性（人間力）	0	0	0	15	0	0	0	0	15
	0	0	0	0	0	0	0	0	0